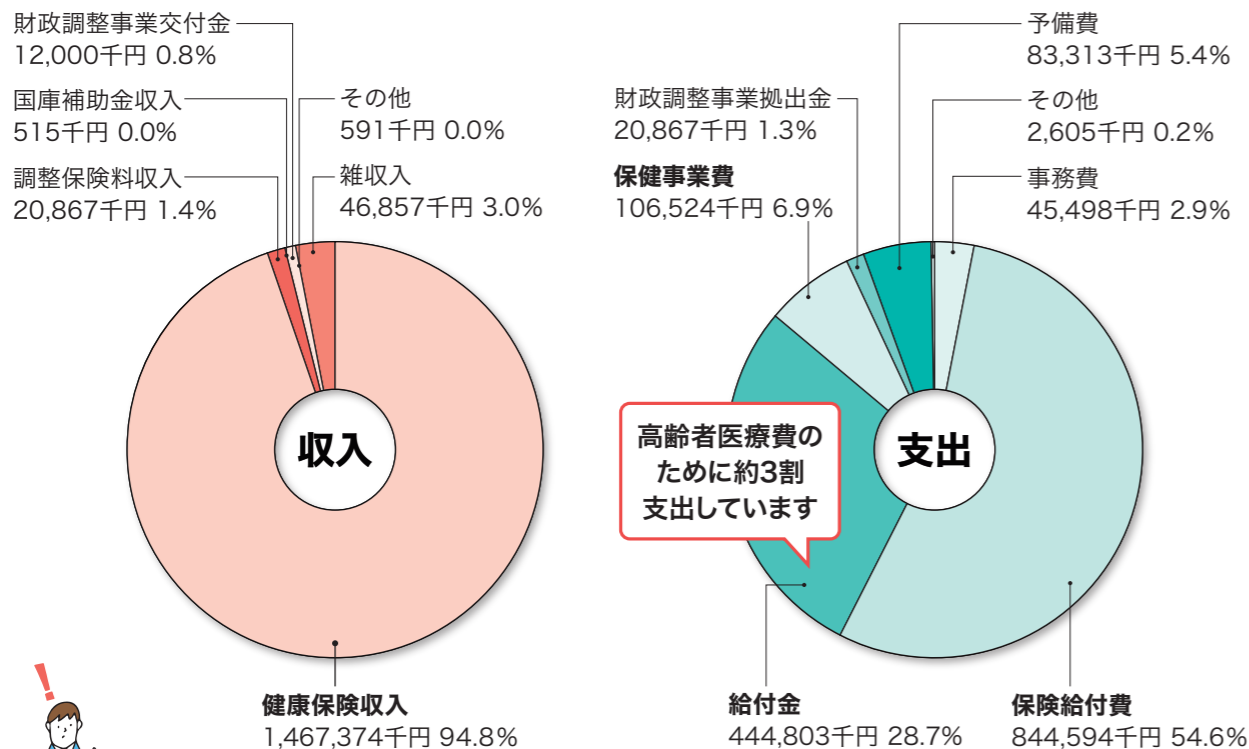
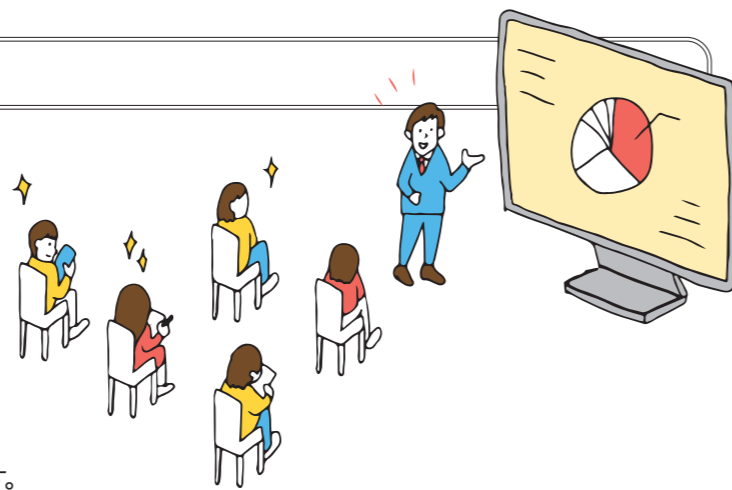


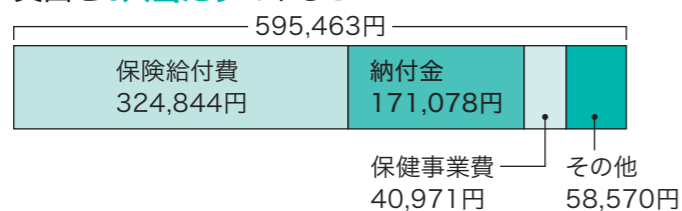
## 一般勘定

### 主な勘定項目

- 健康保険収入  
会社とみなさまが納めた保険料です。
- 保険給付費  
みなさまの医療費や各種手当金のための支出です。
- 納付金  
高齢者医療制度を支えるための支出です。
- 保健事業費  
健診等、みなさまの健康を守るための支出です。



支出を1人当たりでみると…

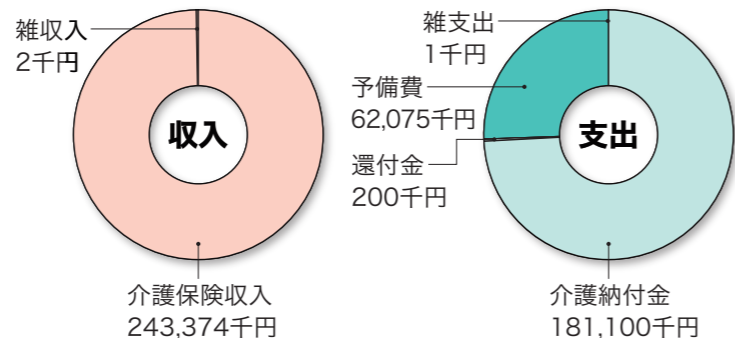


### 予算の基礎数値 (一般勘定)

被保険者数	2,600人
平均標準報酬月額	416,000円
総標準賞与額	4,155,000千円
平均年齢	44.05歳
扶養率	0.83人
前期高齢者加入率	3.72%

## 介護勘定

健康保険組合では市区町村に代わり、40歳以上の人の介護保険料を徴収し、介護納付金として国に納めています。高齢者の増加に伴って介護納付金も増加しており、収入支出予算額は2.4億円となりました。



# 2024年度 予算のお知らせ

当健康保険組合の2024年度予算が2024年2月6日の組合会において可決されました。2024年度は各種納付金が低く抑えられたことが大きく影響し、2023年度と比べて余裕のある予算となりました。なお、健康保険料率、介護保険料率ともに変更はありません。

収入支出予算額  
健康保険 **15億4,820万円**  
介護保険 **2億4,338万円**

保険料率	被保険者	事業主	合計
健康保険	37.0/1,000	50.0/1,000	87.0/1,000
介護保険	10.5/1,000	10.5/1,000	21/1,000

※健康保険は調整保険料率1.2/1,000を含む



### おもな収入

- 保険料収入  
健康保険組合の収入のほとんどは、みなさまからの保険料です。2024年度は14億6,700といたしました。
- その他  
健康保険組合が負担している健診関連費用のうち、事業主負担分を事業主へ請求しています。2024年度は4,680万円を見込んでいます。

### おもな支出

- 保険給付費  
みなさまが医者さんにかかったときの自己負担(2〜3割)以外の医療費や、出産・傷病時の各種手当金も保険給付費から支払われています。2024年度は8億4,459万円を計上しました。
- 保健事業費  
健診や特定保健指導、各種健康づくりの費用として1億652万円を見込みました。2024年度はさらなる受診率・参加率向上を目指すとともに、医療費分析等により引き続き健康課題の抽出にも取り組みます。2024年度はさらに重症化予防事業や健康相談事業にも取り組んでまいります。

### 各種納付金

健康保険組合では高齢者のための医療

### 2024年度の主な改正について

- 2024年4月
  - 出産育児一時金の一部を後期高齢者医療制度からも支援するしくみを導入
  - 前期高齢者の医療費を保険者間で調整するしくみにおいて、部分的(1/3)に報酬調整を導入
  - 新型コロナウイルス治療にかかる特例措置を終了
- 2024年6月
  - 診療報酬改定(初診料・再診料の引き上げ等)
- 2024年10月
  - 短時間労働者の健康保険適用範囲の見直し(企業規模要件を101人以上から51人以上へ変更)
  - 発売後5年以上の先発医薬品を使用した場合、後発医薬品との差額の一部を保険給付対象外に(長期収載品の選定療養導入)
- 2024年12月
  - 現行の保険証を廃止し、マイナ保険証を基本とするしくみへ移行など

費を国へ納付しており、2024年度は65〜74歳の医療費(前期高齢者納付金)として8,020万円、75歳以上の医療費(後期高齢者支援金)として3億6,460万円支出します。なお、2022年度の精算分が加味されるなどの理由で2023年度比で9,520万円の減となっており、支出額全体でも2023年度比で3,443万円の減となっている最大の要因となっています。